



寄与された橋梁の模型

# 第一工大へ橋梁模型寄贈

## コーアツ工業

コーアツ工業  
(吉田三郎社長)  
は5日、霧島市の

第一工業大学に対し3Dプリンターで作成した橋梁の模型を寄贈した。写真。学生らの学習の一助になればと細部までこだわった作品を提供。同大学の田中龍児教授も「橋梁や土質、コンクリート工学の参考になる」と喜んだ。

同社は、県発注の街路(交付金)(向花30の2

工区)を受注。整備は、奈良田団地交差点から第一工業大交差点までのうち、JR線をまたぐ跨線橋の一部を担当した。同社では、イメージアップとして、携わった橋の模型を作成し、ほとんどを発注者に寄贈するか自社で保管している。

模型は、実際に活用した座標データを生かし、3Dプリンターで150分の1スケールで正確に再現。また、実物では確

認できない基礎部や上部構造と下部構造の間に設置する部材の支承まで表現されており、教授と学生からは感嘆の声があがった。

工学部自然環境工学科4年生の下原優斗さんは「土木の中でも橋梁に魅力を感じる。いつかは自分で設計できるように頑張りたい」と思いを話した。

吉田社長は「学習の一助となればと寄贈することになった。これがき



かけに今後も付き合いの場が広がれば、こちらとしてもありがたい」と話した。

# 学習の一助に